

(NPO法人 監獄人権センター)

立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」
助成事業報告書

本報告書の提出期限は【 4月30日（火） 】となっています。
報告書は提出後、アカツキ Web サイトにて公開致します。

1. 振り返りエッセイ

AKBN ファンドを活用した「立ち止まり対話する」取り組みについて、
いつ何を行ったか・どのようなことが起きたか・メンバーの誰がどう
発言したか等について、公開できる範囲で自由な形式にて作文してください。
イメージとしては、「エッセイ」のように考えて頂ければと思います。

■枠の大きさは規定のものから変更せず、その中に収まる分量でお願いします。

■必ず、アカツキ同席の「ふりかえり評価」の後に作成してください

団体理事・正会員・ボランティアの全員が集まり、立ち止まり対話する会は、当初予定していた会場が利用条件が合わずキャンセルせざるを得なくなり、一同大ショックを受けていたところに、ある正会員が「いい所、知ってるよ」と、私達の希望どおりの会場を紹介してくれた。その人は、普段は超多忙で活動への参加は少なめだが、困った時に必ず助けてくれる人でもある。2023年8月19日、「立ち止まり対話する夏合宿」には14名が参加した。1995年の団体設立当時から活動しているメンバーより、団体設立の経緯と活動理念の共有。2020年以降に新たに加入したボランティアスタッフからは、受刑者の社会復帰支援活動の提案について。対話は3時間を超えたが時間が足りないくらい、みんなで話したい事が沢山あった。弁護士・研究者など専門家の視点と、市民の視点はおそらく違う。噛み合わない場面もあるが、どちらが優でどちらが劣という事はない。市民が猛勉強して専門家に追いつく必要もない。活動では、受益者が受刑中でも刑務所出所後でも、「困り事を聞き、支える」というシンプルな目的が共有できていればOK、というのが対話後の雑感である。そして賛助会員を対象にアンケートを実施。回答率は決して高くなかったが、賛助会員の皆さんがどんなイベントに興味があるのか、機関誌を楽しんで読んでくれているのか、知ることはできた。やはり当事者（元受刑者）の体験談に関心集中。私達の活動で、一人でも多くの人の刑務所出所後の人生が、より良いものになる事を願っている。（塩）

2. 支出報告書

■領収書ほか会計証憑書類の添付、当初予算からの残額の返金は不要です。

■枠の大きさは必要に応じて増減して構いません。

■こちらは「ふりかえり評価」実施前に記入されても構いません。

決算会計報告		
種別	内容	収入金額
<input type="checkbox"/> 本助成金	AKBN ファンド想いと向き合う or 数字と向き合う（選択）	191,600
<input type="checkbox"/> その他		
費目	対象・使途・目的・内訳（具体的な詳細を記入）	支出金額
<input type="checkbox"/> 人件費	合宿準備、合宿進行、合宿後の庶務、アンケートの作成・発送・集計・分析の庶務	40,000
<input type="checkbox"/> 諸謝金		
<input type="checkbox"/> 賃借料	会場賃借料	5,500
<input type="checkbox"/> 会議（飲食）費	飲食代 お弁当と軽食等 @4,950 円 14 名分	69,300
<input type="checkbox"/> 消耗品費	コピー用紙	459
<input type="checkbox"/> 旅費交通費	事務局長（愛知県在住）の合宿参加交通費（名古屋⇄東京）	25,000
<input type="checkbox"/> 印刷製本費	アンケート印刷代、夏合宿しおりプリントアウト代	6,684
<input type="checkbox"/> 新聞図書費	参考図書購入	11,084
<input type="checkbox"/> 研修費		
<input type="checkbox"/> 通信運搬費	アンケート郵送切手代 84 円×400 枚	33,600
<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 未使用残額		
合計金額		191,627

3. 助成プログラムへのフィードバック

■AKBN ファンドに対する評価・疑問・要望・期待等を記載ください。

このたびはありがとうございました。「ふりかえり評価」は、色々な場面で活用させていただきたいと思いました。

助成金の申請書を書くのが、これまで応募した助成金の中でも特に難しかったです…。集まって話し合うだけなら誰でも簡単にできる事であり、その中でどうやったら選んでもらえるのか、考えるのがとても難しかったのですが、だからこそ、助成をいただいた時は本当にうれしかったです。

問題点を挙げるとか、改善策を提案するではなく全ては「対話する」で良いんだ！と実感できたプロジェクトでした。飲食代使用不可、人件費使用不可、という助成金が多い中、むしろ対話を成立させるための事前準備、リラックスするための食べ物や飲み物は必要不可欠です。用途を制限せずに助成いただきありがとうございました。